

資料提供	
令和4年5月9日	
担当課 (担当者)	博物館 美術振興課 (佐藤 真菜)
電話	0857-26-8045

令和4年度 鳥取県立博物館 学校&地域でアート 第1回コレクション宅配便
「作品をよく見て話す鑑賞！ in 鳥取看護大学」の開催

本事業は、鳥取県が所蔵する美術コレクションをより多くの方に、身近な場所で観賞してもらうために開催しているアウトリーチ事業です。本年度第1回目となる今回は、鳥取看護大学の学生を対象に、当館所蔵の美術作品7点を持ち込み、対話型の鑑賞授業を行います。ついては、本事業についてぜひ取材いただきますようお願いいたします。

※対話型鑑賞は、1980年代半ばにアメリカのニューヨーク近代美術館で（MoMA）で開発されたアート鑑賞法の一つです。当初は子ども向けの鑑賞法として紹介されましたが、以来、アートを通じて様々な力が育まれる教育カリキュラムとして学校や美術館・博物館で導入されているだけでなく、近年では企業研修や医療現場などで、大人の能力開発の方法としても広く取り入れられています。

鳥取看護大学の授業での実践は初めての試みです。

1 実施日時・場所

令和4年5月12日（木）10:45～14:30

鳥取看護大学 シグナスホール内アリーナ（倉吉市福庭 854）

2 当日の詳細なタイムスケジュール

10:45～12:15（2限目授業「アカデミックライティング」として、学生40名）

12:15～13:00（学内教職員・学生等）

13:00～14:30（3限目授業「アカデミックライティング」として、学生40名）

3 展示作品

橋本興家（はしもと・おきいえ）《縞衣の女》木版画 75.0×52.0cm

深澤幸雄（ふかざわ・ゆきお）《青春の碑》エッチング 74.0×49.4cm

舟越桂（ふなこし・かつら）《緑のスフィンクス》リトグラフ 40.5×31.0cm

野崎信次郎（のざき・しんじろう）《白い対話（M）》木版画 80.0×58.0cm

野崎信次郎（のざき・しんじろう）《白い対話（W）》木版画 79.8×51.9cm

辻晋堂（つじ・しんどう）《ワシ》陶彫 19.0×23.0×28.0cm

辻晋堂（つじ・しんどう）《裸体》木彫 30.2×41.5×27.4cm



深澤幸雄 《青春の碑》
1995年 エッチング



舟越桂 《緑のスフィンクス》
2008年 リトグラフ



辻晋堂 《ワシ》
1974年 陶彫